



〒 242-0007 大和市中心林間 3-16-12 グリーンコーポ中央林間 107

電話 / Fax 046-272-8980 Email: toiwase@edventure.jp URL <http://edventure.jp/>

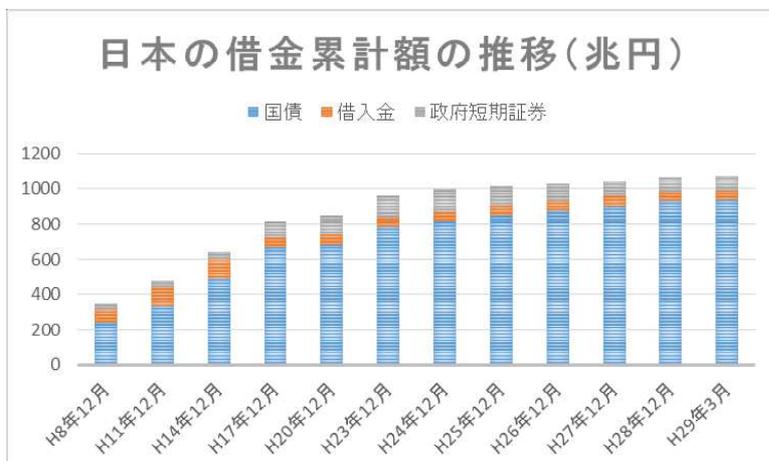
## 「冷めた視線」と「分かち合いの智慧」？

若い人たちの中で「シェア」の感覚があたりまえとして広がっているようだ。住まいをシェアするなどはもうあたりまえのよう。車を個人で持たなくなった若者向けに、車をシェアするシステムもよく見かけるようになった。安上がりに、そしてリスクをひとりでかぶらないようにという、若者達の知恵なのだろうと思う。教育現場でも「共に生きる」という言葉を簡単に使ってしまうけれど、ではどうすれば「共に生きる」ことなのか、その具体性は乏しい。そんな大人達を尻目に、若者達は若者達なりに、ライフスタイルを模索しているのかもしれない。住まいや車などの「モノ」だけでなく、情報もシェアしながら、生活を楽しんでいるのかもしれない。住居のシェアなどは、まるで昔の「長屋」のような、日常的には相互不干渉ながら、何かあれば相互扶助の機能が働くシステムがあるようにも思われる。現在の40代以上の感覚とは違い、抑制的な生活スタイルが浸透してきているのかもしれない。まるで「豊かさ」への幻想を捨て、「身の丈にあった」生活を望んでいるようにも思うのだ。世の中がグローバルだ、経済発展だ、と騒いで必死になっている一方で、若い世代は「現実」を淡々と見つめながら、明日のことを考えているのかもしれない。そして、この現実的な姿勢は、政治や社会への「冷めた視線」とセットであるような気がする。

新聞には今週、「景気拡大期間が戦後最大になった」と報じた。つまり、どうやら日本の景気はとってもいいらしい。過去最大規模のGDPを実現し、失業率も大きく減った。訪日客は（インバウンドと言うらしい）どんどん増えているし、株の動きも堅調のようだ。これだけ聞けば、本当に言うことなしの豊かな日本だ。新聞に載っている政府の発表なのだから、間違いはあるまい。フェイクニュースなわけでもない。

しかし若い人たちにこのニュースを聞かせたら何というのだろうか。まるで遠い国のことのように「そうなんだ・・・」というのではないだろうか。豊かさの実感なんてない。これだけ格差が騒がれているのに、これだけ働いてもゆとりのある生活もできないのに、若い夫婦が子育ての費用が心配で二人目の子は諦めているのに・・・。

将来の不安となればそればかりではない。AIに仕事は奪われるらしいし、年金は自分たち



のころはもう出ないだろうと誰もが言っている。消費税は今年の秋に上がるけど、きっと将来はもっと上がっていくだろうな。高齢化+人口減少で、ひとりの高齢者をひとりの若者が支える時代が来るそうだ。

戦後最長の景気拡大の裏では、国の借金はどんどん膨らみ、現在1千兆円を超えて増え続けている。1千兆円って、1に0がいくつつくんだ？借金した金を、そのまま景気回復に使っている

